

第5章 大仙市における生きる支援関連施策

【大曲仙北医師会】

事業名	事業内容	今後できること	施策
かかりつけ医とのFAX連携	かかりつけ医がうつ病の疑いのある患者を速やかに精神科へつなぐために、FAXでやりとりができるような体制を整備している。	現状維持	基本1(3)
地域精神科医によるかかりつけ医への講演事業	地域の精神科医がかかりつけ医を対象に講演を行っており、顔の見える連携ができるようにしている。	維持・発展に努める	

【秋田県薬剤師会大曲仙北支部】

事業名	事業内容	今後できること	施策
かかりつけ薬局	住民に対して薬・介護に関することなど、ニーズに応じた相談に対応	継続実施	
在宅医療	患者宅に訪問し、残薬管理や服薬指導を行う。		
薬とくらしの教室	住民がくらしの中で薬を正しく安全に使用してもらうための教室		
生涯教育	薬剤師の自己啓発を語るための各種研修		
学校薬剤師	児童、生徒に対する薬物乱用防止教室 お薬の正しい知識、使い方を習得するための教室		
薬薬連携	病院薬剤師と開局薬剤師が情報を共有し、連携を図ることで住民の医療をサポートする。		

【協和病院】

事業名	事業内容	今後できること	施策
精神科・心療内科・内科	精神科・心療内科・内科の外来診療・入院診療	現状維持	
もの忘れ相談外来	もの忘れに関する相談・検査・オレンジ手帳の発行		
精神科セカンドオピニオン外来	現在の診断・治療法等についての相談		
睡眠相談外来	睡眠や生活リズムに関する相談		
成人期発達障害外来	自閉症、アスペルガー症候群、ADHD等に関する相談		

第5章 大仙市における生きる支援関連施策

事業名	事業内容	今後できること	施策
禁煙外来	禁煙に関する相談	現状維持	
アルコール相談外来	アルコールの問題や断酒・減酒に関する相談		
心理カウンセリング(協和病院)	医療保険外の相談・心理検査		
メンタルドック(ケイメンタルクリニック)	医療保険外の相談・心理検査		
アウトリーチ	医療が必要だが、来院出来ない理由がある方に対し、医療スタッフが自宅などへ訪問して支援する。	コロナ等の感染状況みて個別に対応を検討	
精神保健福祉入門講座	こころの健康に関する意識向上と、精神障がいについて正しい知識と理解を深めて頂くため、6時間の研修を行う。	コロナ等の感染状況みて開催予定	

【大曲労働基準監督署】

事業名	事業内容	今後できること	施策
過重労働対策	企業において長時間労働が認められた場合、指導監督を行う。	引き続き、個別訪問等で月45時間を超えるような残業時間を行っている事業場を認めた場合は、残業時間を削減するよう指導等を行う。	重点4(1)
ストレスチェック制度の適切な実施の促進	事業場を個別訪問した際は、ストレスチェック制度の適切な実施及びメンタルヘルス対策全般の自立的促進、定着が図られるよう指導している。	ストレスチェックの実施が義務となっている労働者50人以上の事業場では、実施率が高いが、50人未満の事業場では実施率が低いため、厚生労働省の「こころの耳」を活用したストレスチェックの実施について、周知する。	重点4(2)
メンタルヘルスセミナー	仙北地域振興局福祉環境部と共催して、事業主等を対象にメンタルヘルスセミナーを開催し、職場におけるメンタルヘルス対策の取組の推進を図っている。	引き続き大仙保健所と共催でのメンタルヘルスセミナー及び秋田県産業保健支援センターと連携したメンタルヘルスセミナーを実施する。対象は、メンタルヘルス対策の実施率の低い労働者50人未満の事業場を考えている。	重点4(2)
普及・啓発	個別訪問、セミナーの際にストレスチェック制度を含むメンタルヘルス対策の普及・啓発を図っている。	・引き続き、事業場を訪問した際やセミナーを実施した際に、メンタルヘルス対策についてリーフレット等を活用して普及・啓発を図る。 ・各キャンペーン期間に合わせて、ポスターやリーフレット等を活用して周知を図る。	
労働相談	職場でのパワハラやセクハラ等に対する相談等にも対応しています(担当:大曲労働基準監督署相談コーナー・秋田労働局雇用環境均等室)。	引き続き職場における労使間のトラブルやパワハラ・セクハラ等に関する相談に対応し、必要があれば適切な部署へ引き継ぐ。	基本3(2) 重点4(3)

第5章 大仙市における生きる支援関連施策

事業名	事業内容	今後できること	施策
行政機関等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・個別訪問や労働相談等にて、精神疾患等の労働者、パワハラ等事案を把握した場合は、当署及び秋田労働局の適切な部署に引き継ぐ。 ・労働や職場環境が原因ではない、相談等を受けた場合は、大仙保健所等の他の機関を案内する。 	監督署及び労働局内の適切な部署との連携を行うとともに、職場環境等が原因でない相談等については、適切な相談機関を案内し、自殺予防に努める。	

【大仙警察署】

事業名	事業内容	今後できること	施策
警察安全相談	相談の受理	継続対応	
	関係機関と連携した対応		
	関係機関の教示		
いのちの襷パンフレットの配布協力	各種事業の取扱いを通じて自殺企図者を把握した際、パンフレットを配布	来署者に配付できるよう備え付ける。	

【仙北地域振興局福祉環境部】

事業名	事業内容	今後できること	施策
精神保健福祉相談	月1回精神科嘱託医による相談(要予約)	継続実施	
	保健師の相談は随時実施		
訪問	保健師による訪問は、医療保護入院者の退院時主治医指示によるもの、当事者・家族等から希望があったものに実施。		
自殺未遂者相談支援	関係機関と連携し、本人・家族等の同意を得て支援。		
自殺予防ネットワーク研修会	県南ブロックで3保健所が持ち回りで研修会を開催。対象者は、各地域の自殺予防ネットワーク構成機関の担当者等。		
自殺未遂者支援研修会	県南ブロックで3保健所が持ち回りで研修会を開催。対象者は、医療機関・消防他関係者。		
心はればれゲートキーパー養成講座	身近な人が発する自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応をとることができるボランティアを養成するため講座を実施。対象者は地域住民、行政担当者等。		

第5章 大仙市における生きる支援関連施策

事業名	事業内容	今後できること	施策
アルコール関連問題対策事業	アルコール関連問題の深刻化を防ぐため、相談従事者及び身近な相談対応者(民生委員等)の資質向上に努めるため研修会等を実施。 仙北地域自殺予防ネットワーク推進会議構成担当者による街頭キャンペーンの実施。管内のスーパー等で住民へふきのとうホットラインリーフレット、ポケットティッシュ等の啓発資材を配布し、自殺予防について呼びかける。 地域全体の自殺予防の体制づくり、関係者の連携強化のため会議を実施。 情報共有、連携強化及び関係者の知識、技術の向上のため会議を実施。	継続実施	
相談従事者及び民生委員研修会			
世界自殺予防デー・いのちの日街頭キャンペーン			
自殺予防ネットワーク推進会議			
自殺未遂者関係者会議			

【大曲厚生医療センター】

事業名	事業内容	今後できること	施策
専門医との連携	精神症状の見られる患者を必要に応じて精神科医へ紹介する。	引きつづき、精神症状の見られる患者の精神科受診のための調整と情報提供を行う。	
地域関係機関との連携・調整	患者や家族からの相談内容に応じて地域の関係機関と連携し対応に当たっている。	それぞれの機関の役割を理解し、適切につなげる。 関係機関同士の密な情報共有と関係づくり。	

【大曲中通病院】

事業名	事業内容	今後できること	施策
医療福祉相談	様々な相談の窓口として受け付けし、関係機関へつなげる。	これまでと同様に相談があった事案については関係機関とともに問題の解決に取り組む。	
大仙市いのちの襷事業	自殺未遂者や家族へ大仙市いのちの襷パンフレットを配布し、健康増進センターへつなぐ役割を担う。	引き続き院内での情報共有を密にし、対象者にパンフレットの配布を実施していく。	
大仙市の自殺予防の取組の院内学習会	大仙市健康増進センターから講師を招き、院内で大仙市の自殺予防対策を学習することで、患者に情報提供できる様、理解を深める。	今後、感染状況や院内の本事業への認知状況を評価しながら、再度学習会について検討していく。	

第5章 大仙市における生きる支援関連施策

【大曲商工会議所】

事業名	事業内容	今後できること	施策
経営相談事業	商工会議所経営指導員並びに専門相談員による融資、法律、税務、経営、労務等の相談・指導	継続実施	基本3(2) 重点4(4)
事業承継相談事業	商工会議所経営指導員並びに専門相談員による引き継ぎに関する事前の準備やフォローに関する相談・指導		
事業承継セミナー & 個別相談会	秋田県事業引継ぎ支援センターで開催するセミナーの案内文書を会員に送付		
普及啓発	会員企業に対し、地域自殺対策強化事業相談会のチラシを送付 相談窓口リーフレットの窓口設置		

【大仙市商工会】

事業名	事業内容	今後できること	施策
経営相談事業	地区内事業者に対する経営・金融・税務・労働・取引等の相談指導	商工会事業の1丁目1番地として、引き続き、経営改善等の相談業務を通じた経営状況や経営者の異変に注視する。	基本3(2) 重点4(4)
健康経営の普及促進	重要な経営資源である従業員の健康維持・増進に向けた健康経営の普及促進(チラシ配布、セミナー開催等)	健幸まちづくりプロジェクトなど市と連携して健康経営につなげる。	重点4(5)
健幸まちづくりプロジェクト	タニタ活動量計活用の活発化。事業所単位で活用できる仕組みづくり。	活動量計の電池の配付や健幸スポットの増設、活動量計の活用事例紹介。	

【大仙市民生児童委員協議会】

事業名	事業内容	今後できること	施策
民生児童委員による地域における相談・支援等の実施	民生児童委員による地域における相談・支援等の実施	継続実施	重点1(3)
見守り、相談支援活動	いのちや暮らしの危機に直面している人を発見した際には、問題解決のために相談に乗ったり相談先を案内したりするなどの支援を行う。		
全国・東北ブロック大会及び研修会への参加	活動に関する必要な知識及び技術の習得を行う。		

第5章 大仙市における生きる支援関連施策

事業名	事業内容	今後できること	施策
委員相互・関係機関・団体等との連携	悩みを打ち明けられた際のつなぎ先として、地域の相談窓口や専門機関を把握し、民生委員・児童委員が抱え込まないよう、活動しやすい環境を整備していく。	継続実施	

【大仙市老人クラブ連合会】

事業名	事業内容	今後できること	施策
友愛訪問活動強化支援事業	「孤独にさせない」ための対話活動と見守り(声掛け・話し相手)	対象者の機微を参酌しながら効果的に実施したい。	重点1(3)
	講話「老人クラブが目指す友愛とは」	老人クラブの友愛事業は、原点であり時代修正をしながら、継続すべきものと考えている。	重点1(3)
	リーダーによるグループ討議	事業継続	重点1(3)
リーダー養成等研修会	単位クラブリーダー養成	同期生としての、全県的な繋がりがクラブ活動には効果的。今後とも、入校について督励してゆく。	
	東北ブロックリーダー養成		
	県南ブロックリーダー養成		
	市リーダー養成研修会		
個別友愛訪問事業	相談事案等については、地元民生委員など橋渡し役等	支援の原点、将来とも継続すべき事業	
リーダー養成のための個別指導	会員リーダー養成講座 有識者の講演会等	随時計画を立案実践できる	
地域老連交流会	他地域との交流による情報交換		
老人クラブの活動アピール	老人クラブの事業内容の具体性について	ひたすら老連事業に専念するも、対外的なアピールが欠如している。	
関連事業団体との連携	関連事業団体との連携	事案によっては連携は、可能。	

【大仙市結核予防婦人会】

事業名	事業内容	今後できること	施策
草の根の励まし運動	1人10数軒の受持ち家族を年2、3回訪問。「まめでらが」と声をかけ、会うことにより相手の顔色や声の調子、表情等を感じながら対話。温かな励ましの風を送っている。	民生委員の方とお話しながら、何か妙案が無いかな相談したい。	

第5章 大仙市における生きる支援関連施策

事業名	事業内容	今後できること	施策
総会及び研修会	大仙地域の結核の現状について	こころの健康についての研修会	
県結核予防婦人会会員交流研修会	地域の健康を担う今後の婦人会の役割について(3人の事例発表)		
	結核と薬について		
複十字シール募金	受持ち地域の家庭訪問を通して結核や心身の健康について対話。募金への協力をお願いしながら、個々の健康に関心をもっていただく。	地域の婦人会役員の方々をお願いしながら説明していきたい。	
ハンセン病募金運動			
地域の婦人会、日赤、健康増進センター、民生委員との連携	常日頃の連携を通して何かあった時にすぐ連絡できるようにする。	横のつながり。	

【メンタルヘルスサポーターひだまり】

事業名	事業内容	今後できること	施策
コーヒーサロン	大仙市内2カ所で各々月1回の傾聴コーヒーサロン開催	会員数の減少で厳しいこともあるが、継続していきたい。	基本3(1)
	大仙市内外で年3回ミニ勉強会とコーヒーサロン開催	継続していきたい。	基本3(1)

【大曲仙北広域市町村圏組合消防本部】

事業名	事業内容	今後できること	施策
自損行為救急事案への対応	自損行為のデータを提供することにより、自殺対策の一助となる。	継続実施	基本4(1)
	救急現場で、行為者の家族等から相談を受けたときなどに、相談窓口一覧を手渡し相談してみるよう助言をする。	自殺未遂者本人やその家族の同意が得られれば、関係機関へ情報提供し個別支援に繋げる。同意が得られなくても相談窓口のリーフレットを配布し相談を促す。	